

## 【事業実績】

### 事項① 博物館群の所蔵データ公開にかかる基礎共通フォルダ制作事業

・大阪市内で活動する博物館群の所蔵データ公開に向けての基礎共通フォルダ考案・構築に向けての制作を実施する。

主に、下記2つの機能を持つウェブサイト「デジタル大阪ミュージアムズ」を構築し、令和6年2月20日に一般公開を行った。

#### デジタル大阪ミュージアムズ URL

<https://dom.ocm.osaka/>

#### 機能1：「大阪の宝」コンテンツ

2025年の関西・大阪万博に向けて当実行委員会の構成メンバーである大阪市博物館機構および6館（大阪市立美術館、大阪市立自然史博物館、大阪市立東洋陶磁美術館、大阪市立科学館、大阪歴史博物館、大阪中之島美術館）が国内外からの誘客のために「大阪博」開催する。「大阪博」では、過去から現在、そして未来の世代へと引き継ぐべき各館の所蔵品の中から120点を「大阪の宝」として選定し、公開する。

「大阪の宝」コンテンツページでは、大阪の宝をストーリーと収蔵品の画像種別にフォルダに分けて公開することにし、公開用フォルダを作成した。大阪の宝120点のうち18点を公開し、残りも順次公開していく。

・収蔵品の来歴など大阪との関連性の観点からのストーリーによって分類した5つフォルダ

「市民の力」「都市の力」「未来への力」「芸術の力」「風土の力」

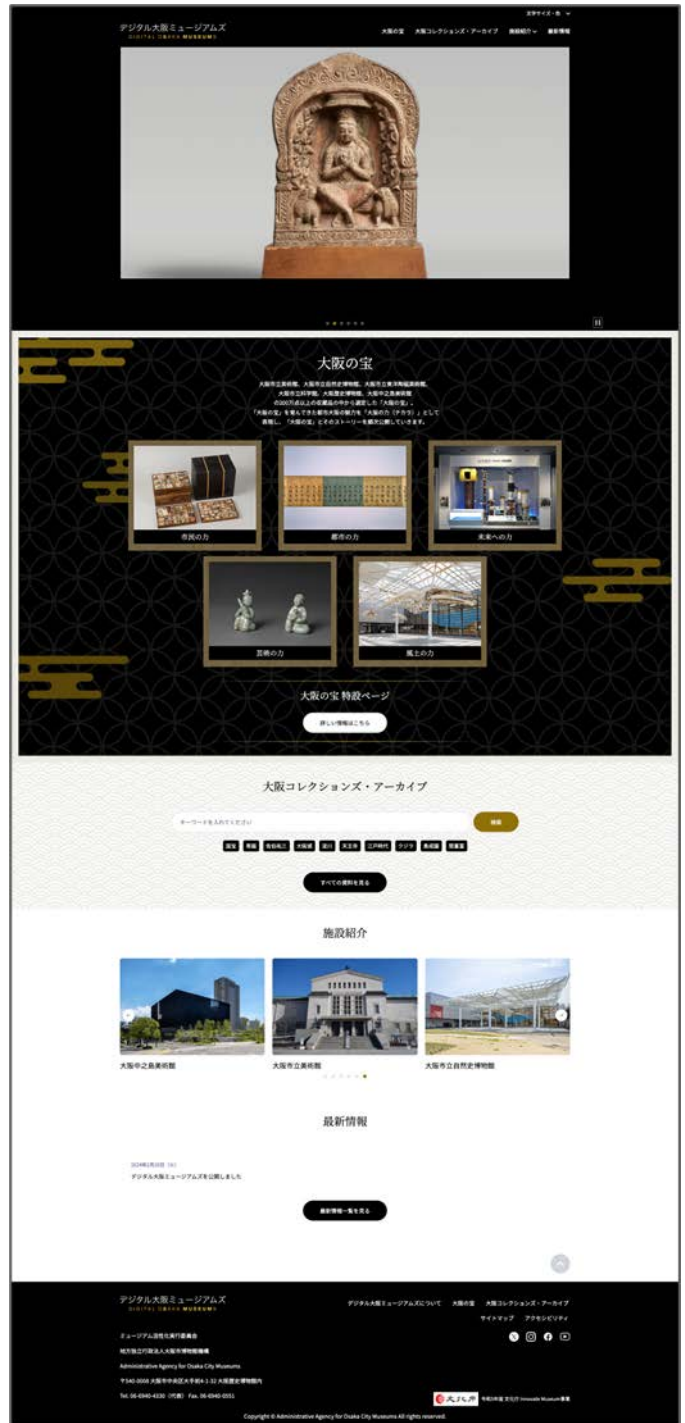
・収蔵品の画像種別によって分類した3つのフォルダ

「高精細画像」「3D」「VR」

大阪の宝は、万博開催期間中に各館で実際に展示することを想定しており、事前に「デジタル大阪ミュージアムズ」の大阪の宝コンテンツページを見た閲覧者が来阪・来館意識を高められるようにすることも目的にしている。

#### 機能2：上記6館の統合型データベース「大阪コレクションズ・アーカイブ」

上記6館の公開されている統合データベースを基盤に、統合型データベースを構築し、キーワード等による



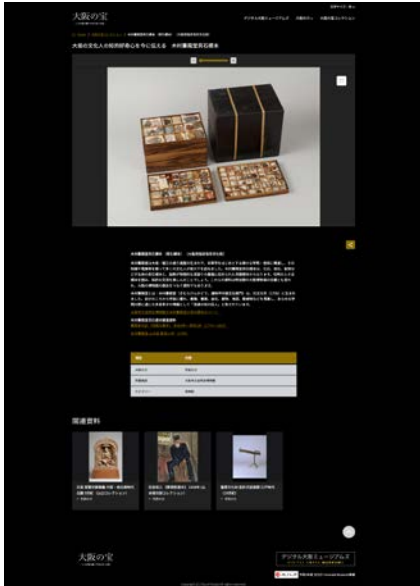
デジタル大阪ミュージアムズ TOP ページ

横断検索ができるようにした。

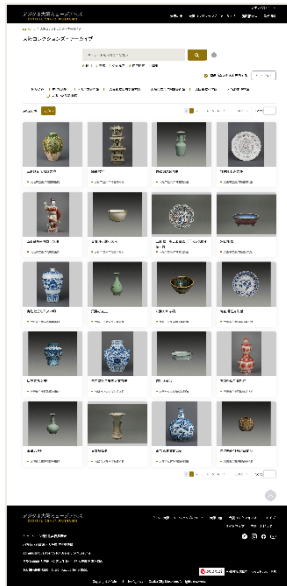
そのほか、上記 6 館の施設紹介や、最新情報を載せるページも作成した。

機能 1 と、機能の 2 の一部、最新情報は、CMS によって登録できるようにした。

成果：「デジタル大阪ミュージアムズ」は、令和 6 年 2 月 20 日に一般公開を行い、同日プレスリリースを行った。2 月 26 日現在、ユニークユーザー数約 820、表示回数約 16,000。



大阪の宝 詳細ページ



大阪コレクションズ・アーカイブ



収蔵品撮影の様子

## 事項② DX 戦略にかかる研修

### ・資料のデジタル化にかかる留意事項等を学ぶ

博物館の DX 戦略にかかる研修を、外部講師を迎えて 2 回実施した。

第 1 回 「デジタルミュージアムの開始に際して～デジタルミュージアムの先行事例、権利処理と権利表記」

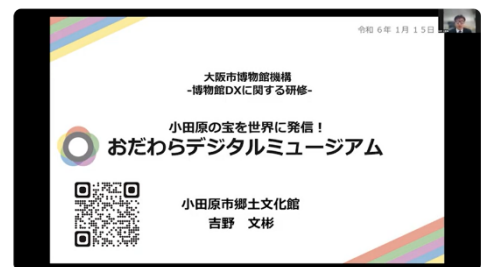
日時 令和 6 年 1 月 15 日 (月) 午後 1 時より午後 3 時 15 分

・講演 1 「小田原の宝を世界に発信！ おだわらデジタルミュージアム創設業務について」

小田原郷土文化館 学芸員 吉野文彬氏

・講演 2 「デジタルミュージアムにおける権利処理と権利表記について」

五常総合法律事務所 弁護士 数藤雅彦氏



第 1 回研修の様子

第 2 回 「デジタルミュージアムの今後の活用を見据えて～教育活用、博物館機能と収益機会」

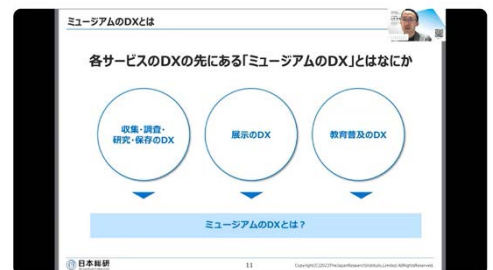
日時 令和 6 年 2 月 15 日 (木) 午後 1 時より午後 3 時 15 分

・講演 1 「デジタルアーカイブの学校教育での活用について」

国立歴史民俗博物館研究部 特任准教授 大井将生氏

・講演 2 「DX が拡張する博物館機能と収益機会について」

株式会社日本総合研究所リサーチ・コンサルティング部門 シニアマネジャー 山崎新太氏



第 2 回研修の様子

成果：当日参加者のべ合計 150 名。見逃し配信（一部、限定配信）で 2 月 26 日現在のべ 80 回再生。

研修当日は、参加者からの質問を受け付けた。